

第 7 回
呉市・豊浜町合併協議会
会 議 録

(平成16年2月19日)

呉市・豊浜町合併協議会

第7回呉市・豊浜町合併協議会会議録

と き 平成16年2月19日(木曜日)

ところ ビューポートくれ 3階 大ホール

出席委員

(呉市)	(豊浜町)
小笠原臣也	狭間襄治
赤松俊彦	隠地忠爾
中田清和	土佐武
下西幸雄	伊藤圭一
岩原 椋	西永英典
石崎元成	大川一也
岩城公順	西野國定
梅河内秀登	坂 孝好
喜田晃江	大奈良 靖

出席顧問

三上忠彦

説明員

芝山公英
佐々木 寛
歌田正己
大下一弘
西野 智
北村英樹

会議に付した事件

(協議事項)

市町村建設計画の作成に関する協議事項

[継続協議項目]

協議第 1 8 号 新市建設計画

行政制度等に関する協議事項

[継続協議項目]

協議第 3 3 号 独自事業の取扱いについて

(1) 生活バスの運行

(2) 離島航路補助事業 (齋島)

(3) 高齢者旅客運賃助成事業

(4) C A T V (有線放送) 事業

午後 1 時 3 0 分 開 会

芝山事務局長 失礼いたします。それでは、ただいまから呉市・豊浜町合併協議会を始めさせていただきたいと思えます。

初めに、小笠原呉市長よりごあいさつをいただきたいと思えます。よろしく願いいいたします。

小笠原会長 皆様方におかれましては、大変お忙しい中、呉市・豊浜町合併協議会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

去る 1 月 30 日に、個別の協議会を開催をさせていただいたところでございますが、そのときに具体的な実施計画を盛り込みました建設計画及び離島航路補助事業など、豊浜町の独自事業の取扱いについて御提案をさせていただきましたが、それについて御協議をしていただきたいというふうに思っております。

また、合併後、10 年間の財政状況をお示した財政計画につきましても、併せて御確認をいただきたいと考えております。後ほど、今後のスケジュールを御説明いたしたいと思っておりますけれども、これからあと 1 年ちょっとで非常にハードスケジュールになっておりますので、どうか円滑に実り多い協議が進められますよう心からお願いを申し上げまして、ごあいさつにさせていただきます。

芝山事務局長 ありがとうございます。

続きまして、副会長でございます狭間豊浜町長よりごあいさつをいただきたいと存じます。よろしく願いいいたします。

狭間副会長 失礼いたします。本日は、呉市・豊浜町の個別協議会に、皆様方公私とも大変お忙しい中、こうしてお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

いよいよ合併問題も大詰めを控えてまいりました。個々にいろいろな問題がある

と思いますが、行政区域の広域化ということで、豊浜町としましても、この問題はどうか、呉市さんとどのように歩いていくか、というようないろいろな問題の審議もしてまいっておるわけでございます。先ほど市長さんが申されましたように、この会が実り多い会でありますことを願ひまして、ごあいさつに代えさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

芝山事務局長 ありがとうございます。

それでは、開会に当たりましての進行を小笠原会長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

小笠原会長 それでは、ただいまから第7回呉市・豊浜町合併協議会を開会いたします。

本日の会議録署名者として、呉市の喜田委員、豊浜町の土佐委員を指名いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

本日の協議事項に入ります。

なお、委員の皆様におかれましては、発言される際には、最初に氏名を言っていただき、会議録作成の都合もでございますので、マイクを使用して御発言いただきますようお願い申し上げます。

それでは、前回からの継続協議案件であります協議第18号新市建設計画についてを議題といたします。

前回の個別協議会におきまして、具体的な事業を盛り込みました建設計画案を御提案申し上げたところでございますが、本日は合併後、10年間の財政状況をお示した財政計画も併せて御協議いただきたいと考えております。

これによりまして、呉市・豊浜町合併建設計画案の全体像を御提案申し上げたこととなりますが、本日、委員の皆様の御承認がいただけましたならば、広島県への事前協議を行ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、事務局から説明を願います。

歌田企画調整課長 失礼します。合併建設計画につきまして御説明いたします。では、座らせていただきます。

前回、1月30日の個別法定協議会の際に御提案いたしました合併建設計画等につきまして、今回、特に修正点、肉付けする点につきましてはございません。1点、前回の御要望でございました老人保健施設の誘致につきましての記述の盛り込みでございますが、御要望のありました件につきましては、これは民間の社会福祉法人が補助を受けられ、整備することになっておられますので、具体的にこの建設計画への文言上の記載につきましては、他町とのバランスの点もでございますので、記述につきましては今回はいたしておりません。その点につきましては、御了解を賜りたいと存じます。

続きまして、財政計画につきまして御説明をいたします。

大下財政課長 それでは、財政計画について御説明申し上げますので、24ページをお願いいたします。

この財政計画は、建設計画に掲載された事業の実施、行政制度の調整結果を踏まえた施策の展開、さらには合併に伴う国、県の財政支援制度などを見込み、新市の

平成17年度から26年度まで、向こう10年間の歳入歳出について、各項目ごとにその金額をお示ししたものでございます。

まず、下の表、「2の歳出」から御説明申し上げます。

10年間の歳出合計を8,957億4,600万円と予定し、内訳といたしまして人件費、扶助費、公債費のいわゆる義務的経費と呼ばれるものを総額の約51%、4,570億6,800万円、次の投資的経費いわゆる建設事業費に約16%、1,451億5,200万円、その他の経費として約33%、2,935億2,600万円を予定いたしております。

一方、これに対します財源、「1の歳入」でございますが、歳入合計を歳出と同額の8,957億4,600万円と予定し、主な項目といたしましては市税を総額の約31%、2,746億4,000万円、次に地方交付税を1,561億7,500万円、1つ飛んで国・県の支出金を1,488億3,600万円、次の市債を1,032億100万円と予定しております。

以上が「財政計画」の内容でございますが、今回、添付資料として別紙資料、「呉市・豊浜町財政計画説明資料」というA4横の4枚物の資料がございますので、こちらの方を御覧いただきたいと思っております。

表紙をめくっていただきまして、1ページ、「呉市と豊浜町が合併した場合の支援措置」という表がございます。これは今回の合併特例法の中で合併が行われた場合に、国、県等から受ける支援措置を一覧にまとめたものでございます。表の一番右側、「呉市・豊浜町分」という表示をさせていただいておりますが、ここが呉市と豊浜町とが合併した場合の支援措置の額でございます。

普通交付税による合併直後の臨時的経費に対する財政支援3億6,700万円、特別交付税による包括的な財政支援9,300万円のほか、国費による補助金1億2,200万円、県費による交付金2億8,100万円などを受けてまいる予定にいたしております。

また、下の欄、起債、合併特例債でございますが、この起債はこの元利償還に対して70%の交付税措置があるものでございます。建設計画に掲載された事業の実施に当たりましては、こういう交付税措置のある起債を有効に活用しながら、新市の財政の健全性の確保に努めてまいりたいと考えております。

それでは、1枚めくっていただきまして、2ページ、「呉市・豊浜町財政計画構成表」を御覧いただきたいと思っております。

10年間の財政計画の考え方につきまして、この表で御説明させていただきたいと思っております。

上段が歳入、下の段が歳出となっております。左の方から「合併を前提としない財政計画、呉市A、豊浜町B」というところがございます。これは呉市・豊浜町がもし合併しなかった場合のそれぞれの10年間の財政計画をここでお示ししております。呉市が8,754億円余、豊浜町が171億円余となっております。このAとBに後ほど内容を御説明させていただきますが、「合併影響分C」を加えたものが、右から3列目の「合計A+B+Cの欄」、さらに右隣の列で合併を前提としない財政計画に含まれております呉市と豊浜町の間での消防事務の受託関係経費の調整、さらには歳入歳出が同額となるよう歳入の繰入金、歳出の積立金で調整を行ったものが新市の「財政計画」でございます。歳入歳出それぞれ10年間で8,957億4,600万円となっております。

それでは、「合併影響分C」について御説明させていただきたいと思います。

合併影響分の中を4つの項目に分けております。左から「行政制度調整」の列、ここには合併で制度を一方に合わせる場合や、統合により不用になる場合の経費の増減のほか、例えば現在、福祉事業ですと、豊浜町域においては県が実施されているものがございますが、これが合併した場合には市で実施ということになりますので、新市にこの分の歳入歳出が計上されてきます。そういった数字も入っております。また、ここで大きいのは歳出の方の人件費、マイナスの1509という数字を上げております。10年間でマイナスの15億900万円、呉市と豊浜町が合併して人件費の節減が図れるということで、合併の効果の一つでもございます行財政運営の効率化ということがこの数字に表れていようかと思っております。

その次の列が「建設計画事業」関係経費でございまして、建設計画に掲載された主要事業の普通会計分の事業費のほか、集落排水事業に係る所要一般財源及び企業債の元利償還金相当額を上げております。歳出には、29億円余の事業費を計上し、歳入にはこれに対する国・県支出金、地方債など、合計で25億円余を計上しております。

次の「財政支援措置」の列では、歳入で地方交付税、国・県支出金を合わせて14億円余を見込んでおります。

次の「重複分」の列には、建設計画事業関係経費のうち、もともと合併を前提としない財政計画に含まれていたものをここに計上しております。

以上の4項目を集計したものが「合併影響分C」の列でございまして、歳入合計で43億2,200万円、歳出合計で26億2,900万円となり、合併による新市の財政への影響額は合併後10年間で16億9,300万円の黒字ということになるかと考えております。

次に、1枚めくっていただきまして、最後の表、3ページ、「呉市・豊浜町年度別財政計画」を御覧いただきたいと思っております。

先ほど建設計画本体の方で10年間トータルでの歳入歳出総額を御覧いただきましたけれども、その10年間トータルの数値を各年度毎に分けたものがこの表でございます。数字ばかりで恐縮でございますが、概略を申し上げますと、各年度の歳入歳出規模を上段、下段のそれぞれの合計欄にございますように、概ね890億円程度で推移するよう割り振っておりますが、財政状況につきましては先ほど1ページで御説明いたしました財政支援措置が合併後、3年間、5年間ということで前半に偏っておりますので、後半にかけては数字的には若干厳しくなっている、そういった状況であろうかと思っております。いずれにいたしましても、呉市・豊浜町の財政状況を踏まえ、過度の財政規模とならないよう、また過度の投資規模とならないよう意を用いておりますが、この計画が今から10年間という長期的な計画ということでございますので、今後また更に精査を進める中で、新市の健全財政の確保、また今後の行財政基盤の強化をこの合併によりまして図っていきたいということで、今回財政計画を御提案させていただきました。

簡単ではございますが、これで説明を終わらせていただきます。

小笠原会長 ただいまの説明並びに建設計画全般につきまして、御質疑なり、御

意見があればお願いいたします。

どうぞ。

坂委員 豊浜町の坂でございます。

1月30日の個別会議で、豊浜町の西永委員より老健施設を町民が待ち望んでいると申し上げましたが、今一度、私からもお願い申し上げます。

合併協議会も、先ほど町長が申し上げましたように、大体最終場面になりましたが、旧大浜小学校運動場への老人保健施設建設を今回確実なものとして、私といたしましても早く町民の方に安心してもらいたいと思っております。どうしても、この老健建設を呉市・豊浜町の建設計画に是非とも記載をしていただきまして、豊浜町民の切なる希望であります。

経過から申しますと、豊浜町では平成15年度から第2期介護保険計画で高齢化率が広島県一である豊浜町に介護保険施設がないこと、そして老人保健施設は隣の蒲刈町、豊町にもないことを訴えて、老健施設の必要性を述べております。

結果としまして、平成15年5月27日の管内市町村福祉保健環境行政担当者会議におきまして、広島県より特別老人ホームにつきまして、呉市が50床、豊町が10床、呉広域8市町村が20床、江能が20床、合計100床と示されております。私がお願いしております老人保健施設につきましては、呉が50床、豊浜町が50床、呉広域が50床、合計150床がこの会議で示されております。この県からの割り当てのあった老健50床を民間法人の資金により実現すべく、住民説明会、また法人選定、旧大浜小学校運動場の貸付契約と進め、16年の6月の整備計画予定を提出し、19年の4月に開所すべく進めてきたところであります。

ところが、県からの16年1月27日付の文書によりますと、この整備計画提出が17年度になることが予想されると予定されております。この場合、17年3月末合併でありますので、予定が。今日まで進めてまいりました整備計画提出が、豊浜町といたしましては提出できなくなります。私も議会議員をさせていただいておりますが、今回、この件につきましても議会で決定しております。契約したことを、今回、呉市におきましても、是非とも引き継いでいただき、この整備計画を呉市において提出していただきたいと思っております。

そこで、資金は民間が出すのだから、建設計画には載せないと言われますが、呉市・豊浜町建設計画に今回どうしても明記をしていただかないと、今まで進めてまいりました豊浜町議会の決定事項の責任がとれない事態が起こりかねません。こうした不安解消のために、今回、是非とも老健施設の建設計画への記載を私はお願いしたいと思います。

以上でございます。

小笠原会長 これは非常に熱望されておる施設であることは、前回の話にもありましたが、昨年からもたびたび町長さんや議長さんから伺っておりまして、しかも豊浜町における高齢化率や体の不自由な方において出なければならないということも十分踏まえておりますので、呉市としてはそういうことをするというに全く異論はないわけでございます。17年度になったというお話しは、私は今初めて聞かせてもらったんですが、これは国、県とよく相談をして進めてまいりたいと

思っておりますので、御了承いただきたいと思ひます。文章表現ということについては、これは豊浜町だけじゃないんですけれども、呉市もそうですし、合併を考えておりますほかの地域も、民間でやられる分については建設計画に載せておられますので、これだけを載せるということになりますと、非常にバランスを欠きますので、それはひとつ御了解いただき、このことは私と町長、それから今日出席いただいております議長ともよく話をし確認をしておりますので、その点ひとつ御了解いただきたいと思ひますし、ここでこういう席ではっきりとそういうふうにお話しもあって、私もお答えしとるわけですから、ここはひとつ信頼をしていただいて、建設計画はこのままで御確認をいただきたいと、こちらの方からお願いしたいと思ひます。

はい、どうぞ。

西永委員 豊浜町の西永でございます。

前回、1月30日の個別協議でもお願いいたしまして、また今、坂委員さんの方からも呉市さんの方へ重ねてお願いを申し上げました。私どもが今心配しておりますのは、合併が17年3月ということになります。申請が呉市になってからでございますので、この辺がただいま市長さんが言うてくださるようによ協議いたしましてということではございますが、申請をするようにしましよというふうなお言葉をいただいたら、この建設計画の中に入れることは当然無理なようなことでございますので、それは理解いたしますので、17年度申請、私ども豊浜町議会、行政が進めてきたことを申請をしていきますというふうなお言葉がいただければ、大変ありがたいんですけれども、その辺どうでございますか。

小笠原会長 初めて私はお話を聞いたんですが、17年度に国の助成をいただくための申請をするんですか、それとも17年度申請して、18年度以降になりますか、そのところがよくわかりません。

はい、どうぞ。

狭間副会長 先般まいりました個別協議の時点では、1月30日だったと思ひます。その時点では、県から文書がまいっておりますのが、実は1月27日付で文書がまいっております、1月27日付で。それによりまして、私もいろいろ県の方へお伺いしましたところ、19年4月の介護保険事業支援計画において豊浜町は上がっておるわけです、19年4月です。そうしますと、16年の以前の場合でありましたら、16年の大体6月10日頃までに整備計画を出しなさいと、各市町村へあるんだそうです、16年に。ですから、豊浜町の間には申請ができる段階だったわけです。それが今年の1月27日の文書によりまして、単年度で申請して単年度で工事しなさいと。ということになりますと、17年申請になって、18年で工事をして、19年の開所ということになるわけです。以前、この1月30日の協議の場では1月27日のその文書を見てなかったわけです。文書が発送されたのが1月27日だったんです、県が。そういうわけでございますので、多少その辺が心配で、ただいま坂委員も西永委員もその辺を市長さんをお願いしていると思ひます。こういうことがない時期でありましたら、そのまま結構だったんです。ただし、これ、一番今心配しておりますのは、豊浜町としましては16年の申請の時点ならば豊浜町でも十分にできるという気持ちもあ

りましたし、既に土地の貸付契約も済んでおりますので、それじゃあそういうこともないでしょうが、呉へ入っとるわけじゃけえ、呉の思いどおりになっても知らんぞというようなことはないとは思いますが、その辺を市長さん、ひとつお願いしたいというようなことでございます。

小笠原会長 わかりました。

今お聞きしました件、私は文書を見ておりませんが、これはあくまでも国、県の助成をいただいて進める事業ですよ。ですから、国、県のお考え方をしっかり確認して、県の方がこれで進めるということであれば、それに沿って私どもも協力してといいますか、今度は新市になり、私の方がやらなければならないことになるのであれば、そうさせていただきます。

それでは、その点は御了承いただくということにいたしまして、そのほかに何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 それでは、一応ですね。町長さんから豊浜町としての最終の御意見と申しましょうか、確認の意味で、お願いします。

どうぞ。

狭間副会長 この建設計画、財政計画、この件につきまして、私の方は了承をいたします。

小笠原会長 ありがとうございます。

先ほど申し上げましたとおり、これはこれから広島県への事前協議となってまいりますので、ただいま確認いただきました本案をもちまして、今後、事前協議をしてまいりたいと思いますので、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 ありがとうございます。

それでは、左様取り計らいます。

なお、事前協議といたしまして、広島県からの回答がございました後に、その内容を報告し、また再度委員の皆様方に御確認をいただくことにしてまいりたいと思います。

続きまして、協議第33号独自事業の取扱いについてを議題といたします。

事務局から本件の説明を願います。

佐々木事務局次長 それでは、第7回呉市・豊浜町合併協議会協議事項という資料をお願いしたいと思います。

行政制度等に関する協議ということで、1月30日の第1回の個別協議会におきまして、町の独自事業の取扱いについて4点ほど調整方針案を提案させていただいたところでございます。

1ページをめくっていただきまして、(1)の生活バスの運行についてでございます

す。これにつきましては、県補助を受けながら隣町の豊町と共同で運行しております民間バスについての取扱いについてでございます。

調整方針案としては、「現行路線の維持継続を基本方針とする。ただし、呉地域全体の生活バス路線の再編については、引き続き検討していくものとする」ということにしまして、引き続き運行を継続するとともに、新呉市として住民の利便性を考え、再編を視野に入れて、引き続き検討していきたいということで調整方針案を提案させていただいたところでございます。

次に、2ページをお願いしたいと思います。

(2)離島航路補助事業でございます。これは町の南側に斎島というのがございます。その住民の交通手段を確保するというので、国県補助を受けながら町が出資しております第三セクターの株式会社斎島汽船に対して事業補助を行っておりますのでございます。

調整方針案としましては、「町事業を呉市が引き継ぎ、実施していくものとする」ということで、引き続き運航を継続していくという中身でございます。それと、住民に対しての運賃助成も引き続き行っていきたいという思いで、前回提案をさせていただいたところでございます。

次に、1ページめくっていただきまして、3ページでございます。

(3)高齢者旅客運賃助成事業についてでございます。これは高齢者に対する高速艇運賃助成事業ということでございまして、豊島港から仁方港に走っております高速艇運賃につきまして、その往復運賃の一部を船会社であります山陽商船と折半する形で町が助成されているというものでございまして、高齢者の70歳以上の方を対象にしているというものでございます。

調整方針案としましては、「町制度は廃止するが、実質的な住民サービスが低下することのないよう調整していくものとする」ということでございまして、呉市一円での制度としていくことは難しいんですが、御存知のように、地域振興基金を造成することになっております。その運用益の一部を町地域の福祉施策に活用していただいて、引き続きこの住民サービスを継続させていただきたいという思いで調整方針案を提案させていただいたところでございます。

次に、4ページをお願いしたいと思います。

(4)CATV（有線放送）事業についてでございます。町におかれましては、平成9年6月より難視聴対策も含めましてCATV施設を整備され、運営を開始されております。

これにつきましては、調整方針案では、「CATV事業を呉市へ引き継ぎ、実施していくものとする。ただし、共同受信及びインターネットサービスを主目的とし、豊町の施設との統合も検討していくものとする」ということでございまして、合併後も引き続き運営していきますけれども、豊町にも同じような公共施設がございますので、運営面等の合理化も図る必要がございますので、合併後も新呉市として、施設の統合も含めていろいろ検討していきたいという思いがありまして、前回方針案として提案させていただいたものでございます。

以上でございます。

小笠原会長 前回もいろいろと御意見を伺いましたが、何かこれについて質疑がございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 もしないようでしたら、狭間町長さん豊浜町としての集約された意見をお願いいたしたいと思います。

狭間副会長 この継続協議につきまして異議はございません。了承いたします。

小笠原会長 それでは、改めてお諮りさせていただきますが、本件につきましては事務局案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 異議なしと認めます。よって、本件は事務局案のとおり決定されました。

以上で協議事項を終わらせていただきます。

続きまして、次第5のその他でございますが、事務局から報告事項がございますので、資料を配付いたします。

佐々木事務局次長 今後の合併協議の進め方ということで、今後のスケジュールについて、今一度確認していただきたいということでございまして、お配りしたものでございます。

2月6日の第5回の合同会議におきまして、行政制度に関する取扱いの調整方針案をすべて提案させていただいたところでございます。

それから、この提案したものについて、3月2日の第6回の合同会議で再度確認していただく作業になろうかと思っております。

それと、この建設計画でございます。合併特例法に基づきまして、合併後10年間のまちづくり計画をつくる必要がございます。これにつきましては、1月の後半から協議しました第1回の個別会議で提案させていただき、今日、第2回の個別会議を開催させていただきまして、先ほど確認をいただいたものでございます。この確認いただいた建設計画につきまして、広島県へ事前協議を行っていきたいと考えております。それで、県の各担当部署で協議されまして事前協議が終わった後、3月25日の第7回の合同会議では、県から事前協議の回答を受けまして、その時点で再度、法定協の委員さんに素案を報告・提案させていただき、確認がいただければ広島県知事へ正式協議を行っていきたいと考えているものでございます。これは合併特例法に県知事へ協議をすることが必要だという決まりがございますので、そういう流れに沿って建設計画については進めていきたいと考えております。

それと、第7回の合同会議におきましては、合併施行期日につきましても平成17年3月の良き日を再度提案させていただきたいと考えているところでございます。

それで、建設計画、行政制度等につきまして、4月の下旬に第8回の合同会議を開きまして、最終案を確認していきたいと思っております。

それで一応のスケジュールが終わりでしたら、5月の上旬に合併協定調印式を行えば、それと6月に呉市の議会、町の議会で合併関連議案を上程させていただき、議決を経まして県知事への合併申請を行いたいと思っております。それと同時に、電算システム統合のための補正予算案を上程し、議決をいただいて、新市スタートに向けてシステム統合等の作業も行っていきたいと考えておるところであります。

それと、県におかれましては9月の定例県議会におきまして、同じように合併関連議案を上程し、議決をいただければと思っております。議決後、知事が総務大臣に届け出をしまして、こういう流れで17年3月の新市のスタートということになるものでございます。今後のスケジュールを今一度御確認いただき、御協力いただければと思っておりますので、ひとつよろしく申し上げます。

以上でございます。

小笠原会長 本件につきまして、御質疑なり、御意見があればお願いいたします。

余裕があるようで、実はないようでございまして、電算のシステム統合にどうしても9カ月かかるということでございます、逆算するとですね。3月末、4月末というふうに、3月議会だったり、選挙があったりいたしますので、こういう形で進めさせていただきたいと思っております。

それでは、本件につきましては報告ということで、この程度にさせていただきます。

そのほか何かございましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 それでは、本当に円滑に協議を進めさせていただいて、本当にありがとうございました。

閉会に当たりまして、中田委員と土佐委員からごあいさつをいただきたいと存じます。

中田委員 それでは、閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、皆さん本当に遠路遙々来ていただきありがとうございます。しかも熱心な皆さんの御意見を拝聴することができました。私たちにとりまして非常に勉強になったところでございます。

1月30日の個別協議会以来、2回目の個別協議会ということで、大体大まかなところが煮詰まってきたところですが、これからもまだ合同の法定協議会等もございしますが、ますます、いろんな細かい問題まで、ひとつ詰め合わせながら、できるだけ呉市にとって、また豊浜町の町民の皆さんにとって幸せな合併ができた、こういうふうに感じていただけますように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、御忌憚のない御意見をますます聞かせていただきながら、17年3月にはすばらしい結論を得たということになるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いをいたしまして、簡単でございますが、ごあいさつに代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

小笠原会長 どうもありがとうございました。

続きまして、土佐委員。

土佐委員 失礼します。

本日は、呉市・豊浜の合併の個別協議が滞りなく終了することになりましたけれども、うちの町長また議員が大変心配しておるのは、うちの問題でありまして、老健施設を是非、呉市長さん、また中田議長さんのもとで、また皆様の御協力で、これだけは絶対に譲れませんことはしつこく言いますが、よろしく願いいたします。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

小笠原会長 どうもありがとうございました。

皆様、本日は熱心に御協議をいただき、誠にありがとうございました。

なお、次回の協議会は6町の合同会議ということになりますので、3月2日火曜日、午後4時からシティプラザカンコーで開催させていただきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

本当にどうも、今日は御苦労様でございました。

午後 2時15分 閉会

以上、第7回呉市・豊浜町合併協議会会議録の内容が正確であることを証明するためここに署名する。

呉市・豊浜町合併協議会会長 小笠原 臣 也

呉市・豊浜町合併協議会委員 喜 田 晃 江

呉市・豊浜町合併協議会委員 土 佐 武